

～ デジタルプリンティングの新潮流 ～

2010秋 / 技術編

伸びるオンデマンド印刷

高付加価値デジタル印刷への手引き

デジタル印刷の市場動向
技術の進化で期待高まるオンデマンド印刷市場
インクジェットの可能性

アンケート調査
オンデマンド印刷は営業展開、市場開拓ノウハウが課題に

デジタル印刷の生産システム
カラーPOD
インクジェット/ソフト
製本・後加工

POD成功企業事例

デジタル印刷の成功事例

Digital Printing
Case Study

4



茂木徳久 社長

今年で創業60周年を迎える株式会社フォレスト（茂木徳久社長）は、写凸業として創業し、時代の流れとともに写凸業からの脱皮、アナログからデジタルへの転換などいくつかの変革期を乗り越えてきた。「今は新たな転換期」と捉えて、最近ではデジタル印刷サービスの提供や電子書籍への対応など、デジタルコンテンツの利活用についても提案している。次なるビジネス戦略が明確に見えるわけではないが、「紙ばかりでは成長が見込めない時代になってきました」というのが、こうした取組み背景にある。

例えば最近では、大量部数で制作するのが当たり前だった「会社案内」なども制作しない企業が増えている。制作しても最小部数しか印刷しない傾向にあり、企業にとって印刷物の在り方も大きく変わってきている。そうすると、これまでのように何でもオフセット印刷で大量に制作するというわけにはいかない。品質に納得してもらえれば、コストや納期な



フォレストの700 Digital Color Press

株式会社フォレスト

デジタル印刷で新たな市場拡大へ印刷サービスのPRでオープンハウスも開催

東京都千代田区飯田橋4-5-13
TEL 03-3265-5757 FAX 03-5210-7057
<http://www.kforest.co.jp/index.html>

どによってオンデマンド印刷で対応したほうがよい印刷物も多い。

こうした流れに対応するために、同社では一昨年からデジタルプリンティングサービスを本格的にスター

トさせ、現在、2台のデジタル印刷システムが稼働している。

1台目に導入したデジタル印刷システムは、社内の業務用として活用することが目的だった。それまでカラープリンター3台、モノクロコピー機1台と、その他にもプリンターなどを設置して対応していた業務が、デジタル印刷システム1台に集約できた。その生産性に期待して、2台目にデジタルプリンティングサービス向け専用機として700 Digital Color Pressを導入。小部数の写真集や会社案内などの冊子類、DM・ハガキ類、各種バリエーション製品にいたるまで柔軟に対応している。色再現に厳しいアパレル関係の出力なども本紙で色味を確認してもらうことで「問題はない」という。

デジタル印刷システムのサービスを周知・啓蒙するために、今年の9月7日と8日、一般のお客様へのPRを目的としたイベント「フォレストオープンハウス2010」を開催した。オープンハウスでは、本社ビルの1階から3階までを利用して、各種パンフレット、ノベルティグッズなど実例も含めて多様な印刷製品を展示・紹介し、印刷物のアイデアを提案した。「オンデマンド印刷で、次の市場拡大へ繋がることを期待しています」と茂木社長は語っている。



オープンハウスでは、様々なオンデマンド印刷事例を紹介した